

レンタル テントハウス

固定式 / 伸縮式

採光性・耐震性に優れたテントハウスを必要なときに、必要な期間レンタルすることができます。
また用途やご予算にあわせてご自由にお選びいただくことができます。

SAN-E-PROTENT



大切にしています、空、感、のクリエート

株式会社サンエプロテント

<http://www.san-e-protent.co.jp>

本社 〒610-0342 京都府京田辺市松井宮田26-1
関東営業所 〒344-0026 埼玉県春日部市武里中野285-4
城陽工場・配送センター 〒610-0116 京都府城陽市奈島下小路11-1

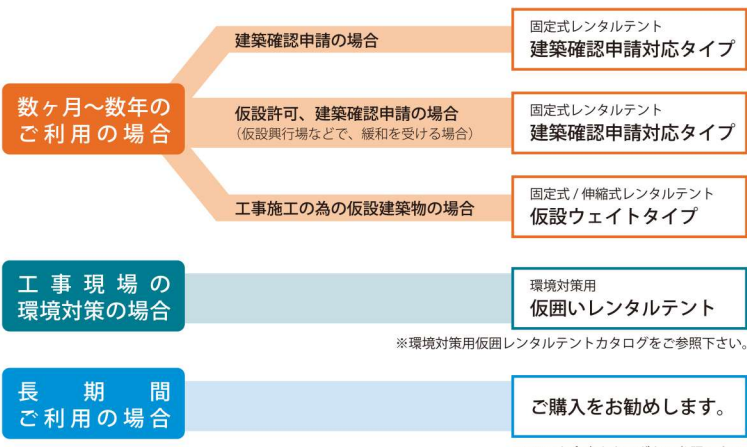
ご用命・お問い合わせは



豊富な種類サイズから用途に合わせてお選びいただけます。

レンタルテント倉庫の選び方

— 目的にピッタリのレンタルテント倉庫をお探し下さい。 —



※環境対策用仮囲いレンタルテントカタログをご参照下さい。

※テント倉庫カタログをご参照下さい。

倉庫以外の用途の場合や多雪地域の設計の場合は、別途ご相談下さい。

※建築確認申請対応タイプ (用途: 倉庫 有効軒高: 4.6m 1,000㎡以下 設計風速 V₀=34m/s 積雪 30cm 対応)

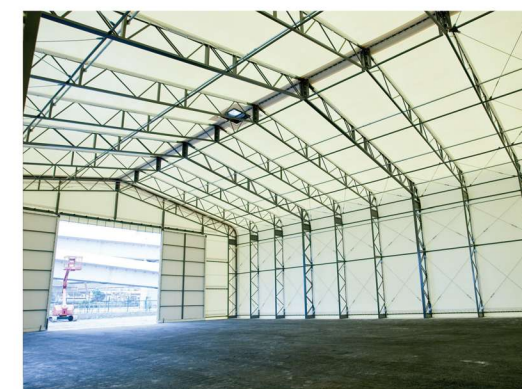
サンエープロテントのレンタルテントハウスは取扱実績と間口サイズのバリエーション共に豊富です。

必要なときに
購入するほど、長期間必要でない場合や、商品が一時的に増える繁忙期だけ必要という場合に最適です。サイズが大きくなればなるほど、購入に比べて費用も割安です。

豊富なサイズ
レンタル期間は 1 ヶ月から承ります。サイズは建築確認申請対応タイプは間口 5 タイプ・奥行は 2m の倍数、仮設ウエイトタイプは間口 11 タイプ・奥行は 1.83m の倍数、伸縮式は間口 4 タイプ・奥行は 1.5m の倍数となっており、貴社のスペース・用途に合わせてお選びいただけます。

短期施工
鉄骨は丈夫なトラス構造を基本とし、組立、解体、移設もわずかな工期で行います。100㎡程で 1～2 日間、200～300㎡程で 2～3 日間で設置可能です。

採光性に優れた膜材はとっても経済的です。



昼間の照明がなくても、グレー等の膜材は太陽光で、倉庫内を明るくし、光熱費の削減に貢献します。

また、ハイグレードな防汚加工、遮熱効果のあるテントなども開発され、テント倉庫の可能性がさらに広がっています。株式会社サンエープロテントでは、新しい素材や技術と長年培ってきた経験を融合させて、常にテント倉庫を進化させていきます。

固定式レンタルテント 建築確認申請対応タイプ



基礎工事を施し、建築基準法にも適合したレンタルテント倉庫です。長期間のレンタルに最適です。サイズは間口が5タイプ、奥行は2.0m×N、有効軒高は4.6mと豊富にございますので、必要な大きさをお選びいただけます。鉄骨は丈夫なトラス構造を基本とし、組立、解体、移設もわずかな工期で行います。100㎡程で1～2日間、200～300㎡程で2～3日間で設置可能です。レンタル期間は1ヶ月より承ります。



施行状況



テント内部空間



基礎箇所

特徴



建替えの間の仮設倉庫、仮設店舗、資材置き場等として御利用頂けます。

1 **レンタル（賃貸契約）ですので、固定資産上の家屋にはあたらず、経費処理できます。（償却資産としての課税はありませんが、レンタル料に含まれています）**

5 **テント倉庫建築物（平14国交告667号）は、その構造方法により構造計算適合性判定が必要なく、申請時の時間も短縮されます。**



2 **テント製の倉庫ですので、施工、解体の日数がかからず、ご希望のサイズに近いものをお選び頂けます。**

3 **不燃テント仕様（準耐火構造）、天井ガラスクロス（屋根不燃）、積雪タイプ等もオプションとして対応しております。**



使用例 建替えなどのために工事期間中などの短期間を前提とした臨時の建築物として、構造、建築設備などの建築制限の緩和がうけられます



仮設体育館
W:23m×D:36.24m×H4.6m(有効軒高)

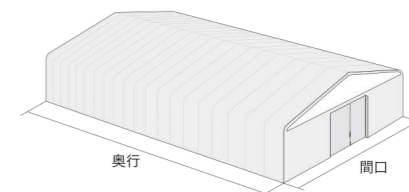


仮設配送センター
W23m×L34.6m×H4.6m(有効軒高)

固定式レンタルテント -建築確認申請対応タイプ- 規格サイズ

型式	間口	奥行	有効軒高	積雪量
W0800SPTM-S30	8m	2.0m×N	4.6m	30cm (600N/㎡)
W1000SPTM-S30	10m			
W1200SPTM-S30	12m			
W1500SPTM-S30	15m			
W2000SPTM-S30	20m			

共通設計基準：風速 $V_0=34\text{m/s}$ 以下(地表面相度区分III)
適用範囲 規模：地上1階 用途：倉庫 軒高：5.0m以下 面積：1000㎡以下
※Nはスパン数です。(例：奥行2.0m×10スパン=20.0m)



積雪タイプについてはご相談下さい。

固定式レンタルテントを仮設申請するにあたって

仮設建築物……建替えなどのために工事期間中などの短期間を前提とした臨時の建築物
構造、建築設備などの建築制限の緩和がうけられます
※簡易なもの、短期間だからといって、仮設（一般的に思われている、届出等のいらないもの）とはなりません

- ① 非常災害の場合の応急仮設建築物
- ② 災害があった場合に建築する公益上必要な応急仮設建築物
- ③ 工事施工のための仮設建築物 <現場に設ける事務所、材料置き場など> → 仮設ウェイトタイプとなります。
- ④ 仮設興行場などの仮設建築物 <仮設興行場、博覧会建築物、仮設店舗など> → 建築確認申請対応タイプとなります。

特定行政庁は、安全上、防火上及び衛生上支障がないと認める場合においては、1年以内の期間（建築物の工事を施工するためその工事期間中当該従前の建築物に替えて必要となる仮設店舗その他の仮設建築物については、特定行政庁が当該工事の施工上必要と認める期間）を定めてその建築を許可することができる（建築基準法 第85条5項）

④ 仮設興行場などの仮設建築物に対する適用除外規定

12条1項	特殊建築物等の定期調査の報告	34条2項	非常用の昇降機の設置
12条2項	国等の特殊建築物等の定期点検	35条の2	特殊建築物等の内装
12条3項	昇降機、建築設備等の定期調査の報告	35条の3	無窓の居室等の主要構造部
12条4項	国等の建築物等の昇降機、建築設備の定期点検	第3章	都市計画区域内における建築物の敷地、構造、建築設備及び用途
21条	大規模建築物の主要構造部		
22条	屋根の構造		
23条	外壁の構造		
24条	木造建築物等である特殊建築物の外壁等		
25条	大規模の木造建築物等の外壁等		
26条	防火壁		
27条	耐火建築物又は準耐火建築物としなければならない特殊建築物		
31条	便所		

特に緩和をうける項目がない場合、通常の建築確認申請となります。

平成14年国土交通省告示第667号（テント倉庫建築物）として申請します。

1. 面積 延べ面積が1000㎡以下であること
2. 高さ 階数1階 平屋建て 軒の高さが5m以下であること等が条件となります。
※詳しくは国土交通省ホームページ「告示・通達検索システム」で検索してご覧下さい。

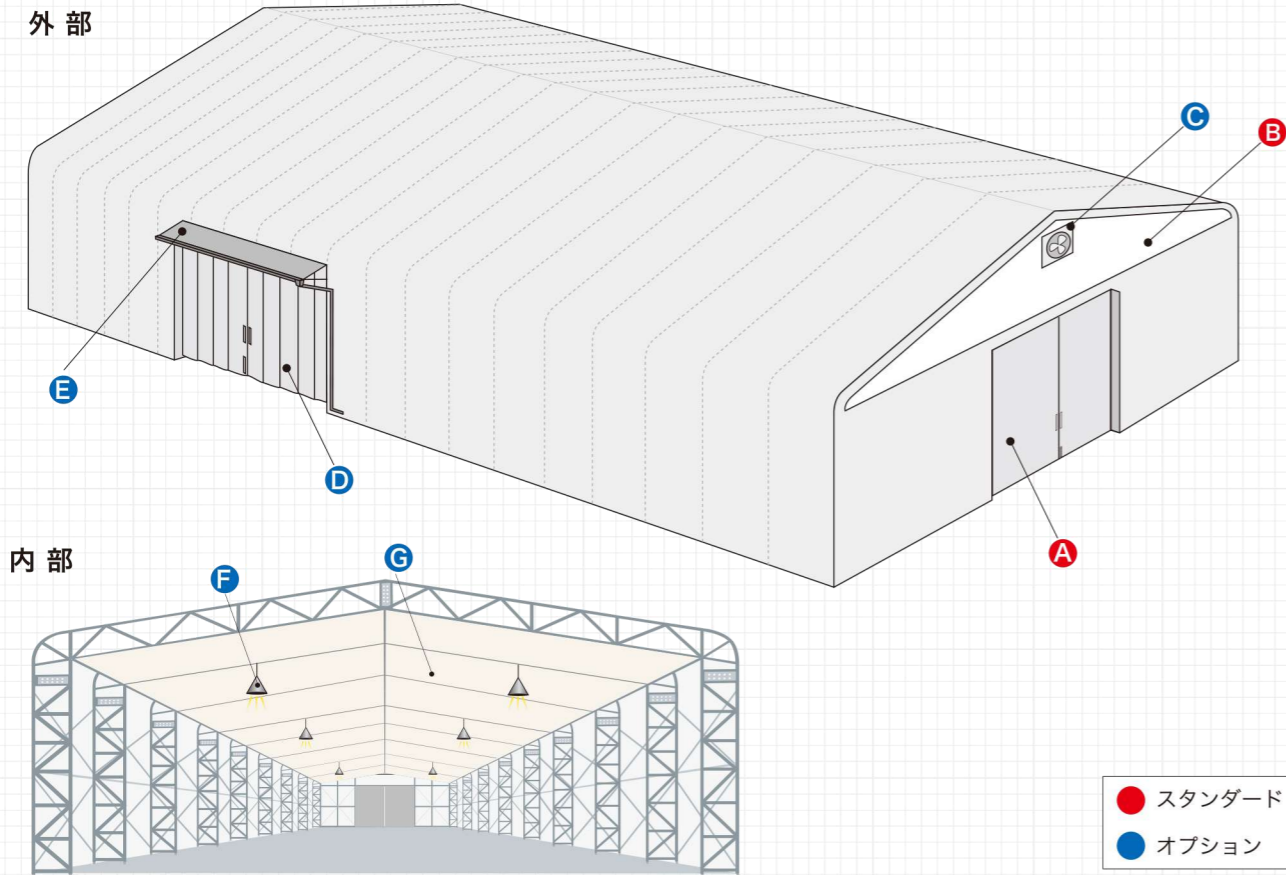
建築確認申請される場合の注意事項

1. 用途地域、建ぺい率等について
2. 防火地域の指定について <防火地域、準防火地域、法22条地域（屋根不燃区域）>
3. テント倉庫の中に保管される物について
4. 延焼のおそれのある部分について
5. 基礎工事が必要になります。
6. 消防用設備が必要となります。
7. 風速、積雪荷重の確認
8. 自治体の条例等の規制

・用途は倉庫の場合
延べ面積 150㎡以上 → 誘導標識+消火器具
500㎡以上 → 誘導標識+消火器具+自動火災報知設備
700㎡以上 → 誘導標識+消火器具+自動火災報知設備+屋内消火栓設備
※ 不燃テント仕様では準耐火建築物となり、1,400㎡まで消火栓が不要となります。

固定式レンタルテント倉庫 標準設備・オプション・その他設備

様々な状況・ニーズに対応できる各種オプションをご用意しております。



A 妻面出入口 - 引き戸 -

B 妻面明かり取り

B 妻面出入口 - 芯材カーテン -

D 側面出入り口 - 芯材カーテン -



C 妻面換気扇



E 雨樋 庇



F 照明 蛍光灯 / 水銀灯



G 燃え抜け防止シート



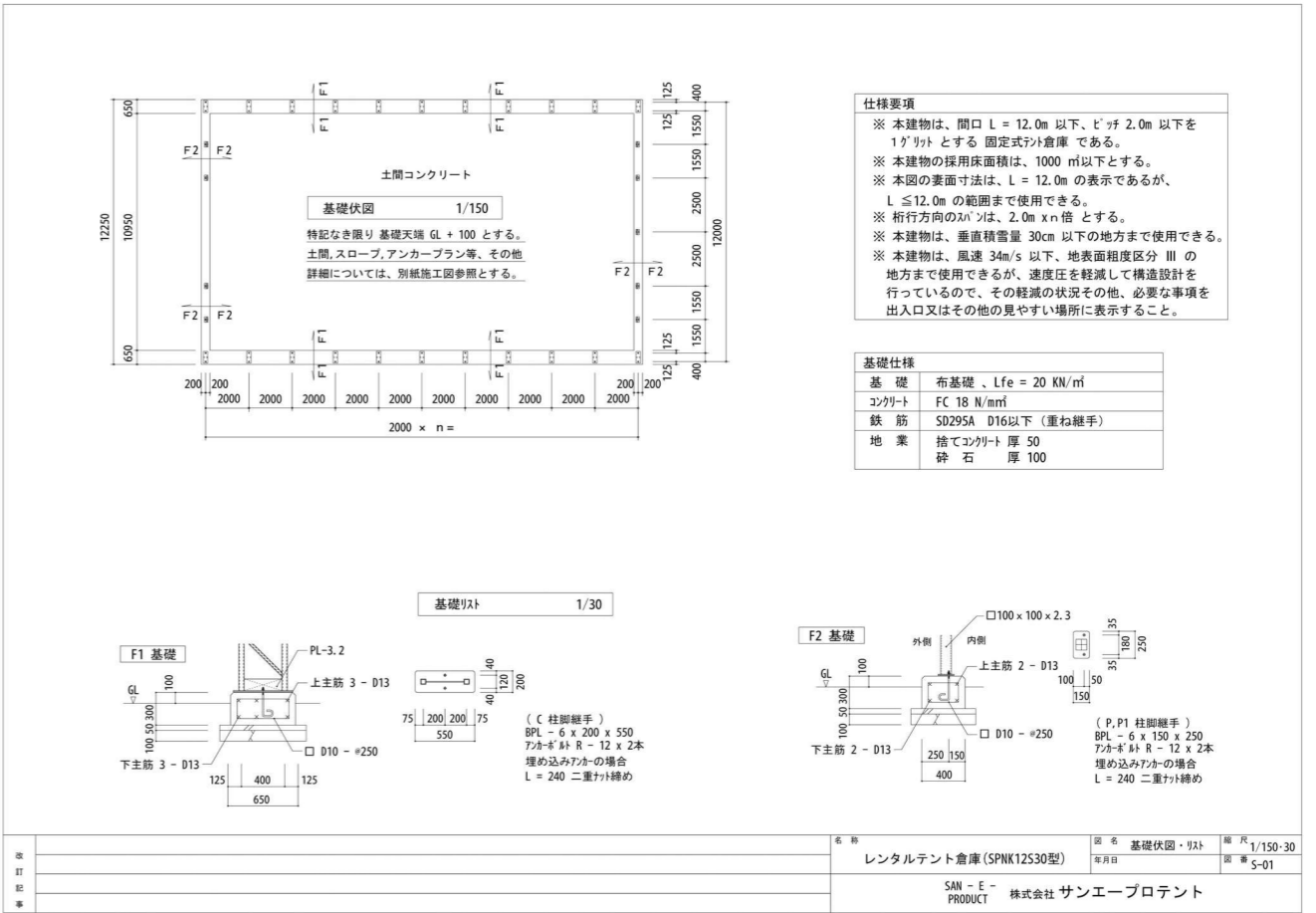
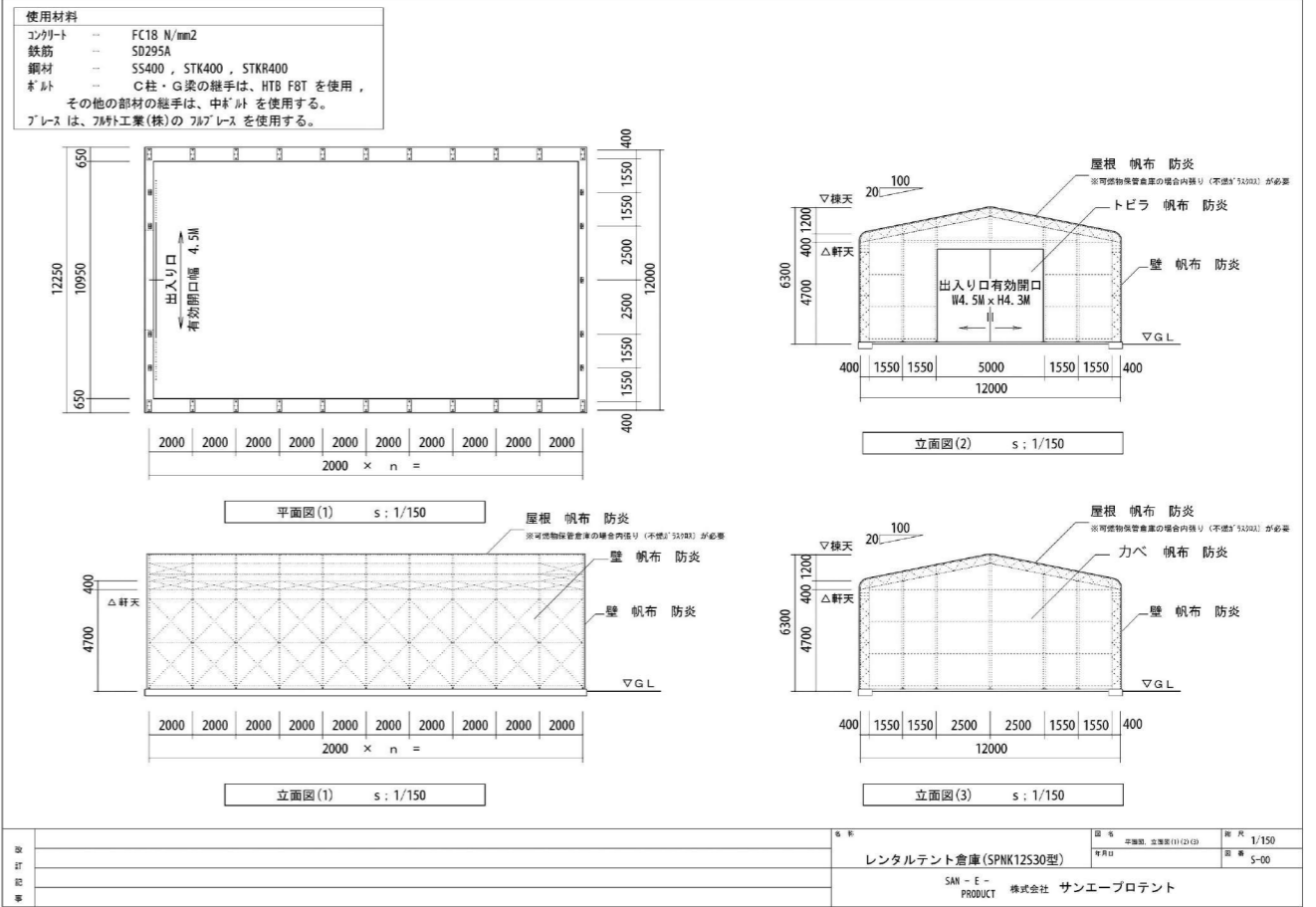
養生シート



消防設備



固定式レンタルテント倉庫 一建築確認申請対応タイプ 参照図面



固定式レンタルテント 仮設ウェイトタイプ



コンクリートウェイト、山留め材、敷鉄板等の重量によりテントハウスが風圧力でとばないように計算されたタイプです。工事現場などで仮設テント用としてご利用いただけます。ウェイトの重量だけで数トンにもなるため、設置場所の状態が悪く、クイがあまりきかないような場所や海辺等で風が強いような場所でも、安心してご利用いただけます。



コンクリートウェイト 外置タイプ
肩口からワイヤーを引っ張り、つなく外置きタイプです。重量：650kg



コンクリートウェイト 内置タイプ
柱にワイヤーで固定する内置きタイプです。重量：650kg

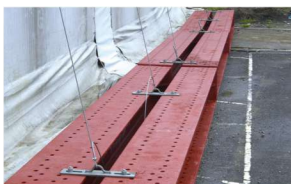
その他の基礎

山留材タイプ

特許 特許 4204540



肩口からワイヤーを引っ張り、山留材につなぐ方法と山留材を基礎の代わりに設置し、その上に柱を取り付ける方法がございます。軟弱で凹凸がある接地面でも、容易に設置出来るサンエー独自の工法です。※参考：H400…200kg/m



敷鉄板タイプ



敷鉄板の上に柱を設置し、溶接する方法です。

※参考：1524mm×3048mm×22t
800kg/枚
※参考：1524mm×6096mm×22t
1604kg/枚



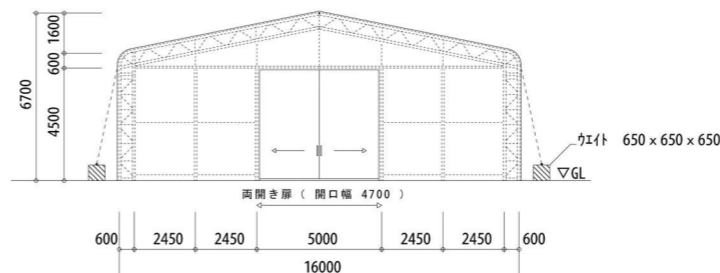
工事施工のための仮設建築物（現場に設ける事務所、材料置き場など）については下記の規定は、適用されません

工事施工のための仮設建築物に対する適用除外規定

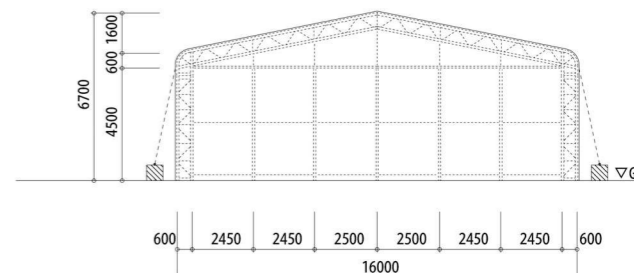
6条	建築物の建築等に関する申請及び確認	21条	大規模建築物の主要構造部
6条の2	国土交通大臣等の指定を受けた者による確認	22条	屋根の構造制限
6条の3	建築物の建築に関する確認の特例	23条	外壁の構造制限
7条	建築物に関する完了検査	26条	大規模の木造等の防火壁
7条の2	国土交通大臣等の指定を受けた者による完了検査	31条	便所
7条の3	建築物に関する中間検査	33条	避雷設備
7条の4	国土交通大臣等の指定を受けた者による中間検査	34条2項	非常用の昇降機の設置
7条の5	建築物の建築に関する検査の特例	35条	特殊建築物等の避難及び消火に関する技術的基準
7条の6	検査済証の交付前の建築物の使用制限	36条	第2章の規定を実施し、又は補足するため必要な技術的基準
12条1項	特殊建築物等の定期調査の報告	37条	建築材料の品質
12条2項	国等の特殊建築物等の定期点検	39条	災害危険区域
15条	届出及び統計	40条	地方公共団体の条例による制限の附加
18条	国等の建築物に対する確認、検査又は是正措置に関する手続	第3章	都市計画区域内における建築物の敷地、構造、建築設備及び用途
19条	敷地の衛生及び安全		

防火地域又は準防火地域の延べ面積が50㎡を超えるものについては、法63条の規定は適用される

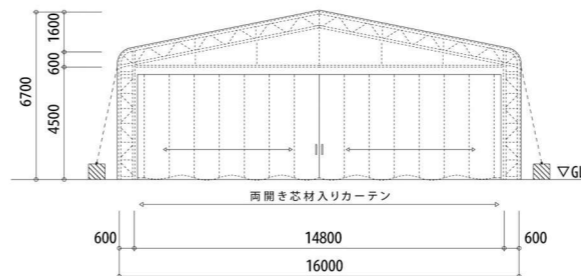
固定式レンタルテント ー仮設ウェイトタイプー 参照図面



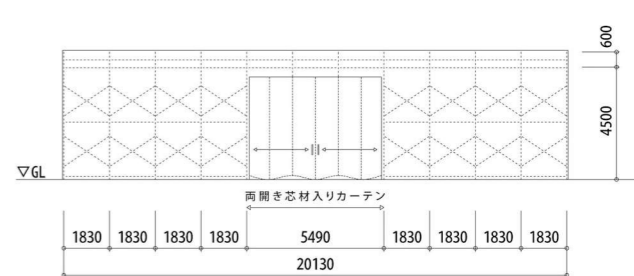
表面トビラタイプ 立面図 (1) S:1/150



表面固定張りタイプ 立面図 (3) S:1/150

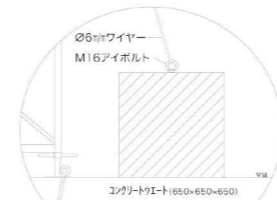


表面芯材カーテンタイプ 立面図 (2) S:1/150
(出入り口が広く必要ときに)

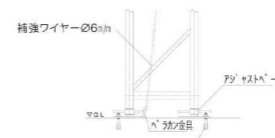


側面芯材カーテンタイプ 立面図 (4) S:1/150
※オプションでの対応となります。

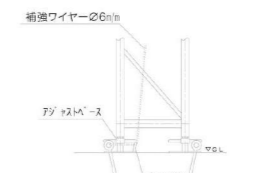
基礎 参照図面



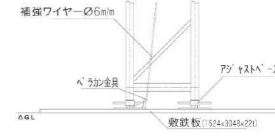
■コンクリートウェイト



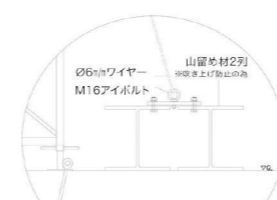
■アンカータイプ



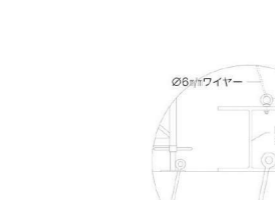
■クイタイプ



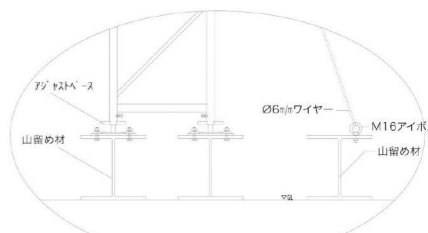
■敷鉄板タイプ



■山留材 2列タイプ



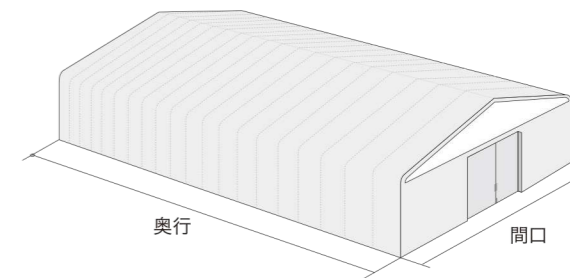
■山留材 1列タイプ



■山留材基礎タイプ

固定式レンタルテント ー仮設ウェイトタイプー 規格サイズ

型式	間口	奥行	出入口	有効軒高
W04000SPKM	4m	1.83m×N	芯材カーテン	3.2m
W05000SPKM	5m			4.5m
W06000SPKM	6m			
W07000SPKM	7m			
W08500SPKM	8.5m			
W10500SPTM	10.5m	1.83m×N	トビラ or 芯材カーテン	4.5m
W12000SPTM	12m			
W14000SPTM	14m			
W16000SPTM	16m			
W18000SPTM	18m			
W19500SPTM	19.5m			5m



※Nはスパン数です。(例：奥行 1.83m×10スパン=18.3m)

伸縮式 レンタルテントハウス

特許取得済



倉庫本体が伸縮することにより、長尺物・重量物など長くて重い資材を保管するのに適したテント倉庫です。機能性抜群の動く倉庫は屋根材・壁材が膜材だからこそ実現を可能とします。

伸縮式レンタルテントハウスの特長

1. 全天候型のテントハウスなので、耐候性に優れています。
2. ジャバラ方式のため、設置時の建て方用地面積が少なく済みます。
3. プレハブ構造なので、解体・移設も簡単に行え、工事にかかる期間も短くて済みます。
4. 上屋が伸縮するので、開口部の狭さや奥行きを気にする必要がありません。
5. 搬入荷物が少ないときは、縮めた状態で収納できるので、空いたスペースを有効に使えます。
6. 2連棟あるいは3連棟で一体となった連棟タイプを活用していただくと、大スパンでの搬入・搬出・倉庫内作業を効率良く行えます。



内部空間



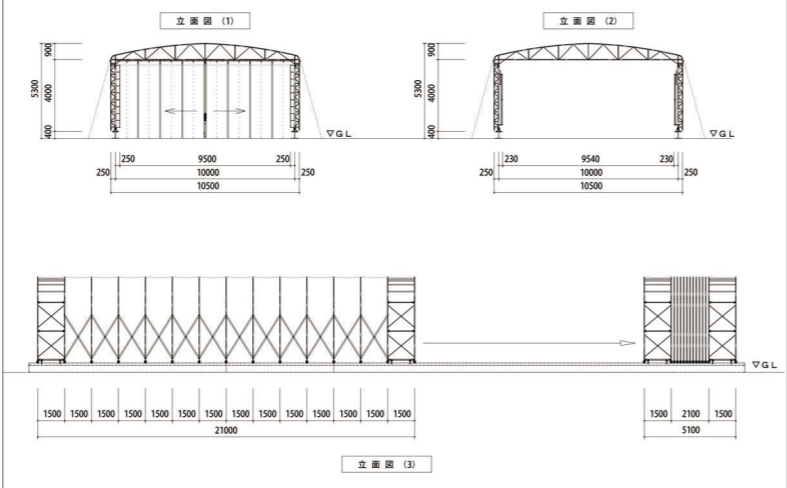
連棟タイプでは、出し入れが困難な長尺物や重量物の出入荷がクレーン作業でラクに行えます。

特許 サンエー独自の車輪装置により、伸縮移動をスムーズに行えます。
特許 4041427

伸縮式レンタルテントハウス 規格サイズ

型式	間口	奥行	有効軒高
JW08500SPKK	8.5m	1.5m×N	4m
JW10500SPKK	10.5m		
JW12500SPKK	12.5m		
JW15500SPKK	15.5m		

伸縮式レンタルテントハウス 参照図面



写真で見る レンタルテントハウス

多彩なサイズと豊富な実績でご要望にお応えします。



W:15m×L:20m×H:4.6m
建築確認申請対応タイプ 間口は芯材入りカーテン



W:16m×L:16.47m×H:4.5m
仮設ウェイトタイプ (山留材) 間口は芯材入りカーテン



W:14m×L:27.45m×H:4.5m
仮設ウェイトタイプ (コンクリートウェイト)



W:19.5m×L:20.13m×H:5m 積雪 1m
仮設ウェイトタイプ (敷鉄板) 施行状況



W:19.5m×L:25.62m×H:5.0m
仮設ウェイトタイプ (山留材) 施行状況



W8.5m×L:21m×H:4m 伸縮式テントハウス



W:8.5m×L:18.3m×H:4.5m 小型タイプ



W:5m×L:10.98m×H:3.2m ミニタイプ
ミニタイプのフレームはシングルタイプ